

---

# アクアリウム

河野夜兔

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

アクアリウム

### 【Nコード】

N7010J

### 【作者名】

河野夜兎

### 【あらすじ】

アクアリウムで僕は一人考える。

ガラスの向こうの世界は、管理された『綺麗』な世界が広がっている。

どこまでも青い？ 碧い？ 蒼い…？ 世界。

どんな色でそれを表現したらいいのか僕にはわからないけど、その『あおい世界』が好きなんだ。

越えたくても越えられない絶対的なガラスの境界線。

触れたくても触れられない『あおい世界』を、僕は時折目を細めて、憂いにも似た息を小さく落として眺めるだけ。

ガラスの向こうの住人の瞳には、僕がどんなふうに写っているんだろう…

ゆったりと、まるで『あおい』空中を漂うかのように僕の目の前を泳ぐ住人からの返答はもちろんない。

何故だろう。

こんなに『綺麗な世界』を見つめているのに、こんなにもこの『あおい世界』に心を奪われているのに…

何故、こんなにも胸が軋むんだろう…

何故、僕の瞳からはこんなにもとめどなく何かが溢れて止まらないんだろう…

本当の僕はもしかして、管理された『綺麗な世界』なんて望んでいないのかな？

ねえ、本当に『綺麗な世界』って一体何なのかな…？

よくわかんないや…。

誰か教えてよ。

この世界は綺麗なの？

それとも…

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7010j/>

---

アクアリウム

2011年1月16日01時22分発行